

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社カインス

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上地史朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 黒谷理

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成25年2月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,962	12.5	176	15.2	170	13.9	102	30.9
24年3月期第3四半期	3,520	5.3	153	△12.3	149	△11.6	78	29.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	23.06	—
24年3月期第3四半期	17.61	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,089		2,854			46.9
24年3月期	5,776		2,781			48.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,854百万円 24年3月期 2,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,310	9.2	217	0.0	208	0.3	125	10.5	28.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	4,558,860 株	24年3月期	4,558,860 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	107,337 株	24年3月期	107,237 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	4,451,579 株	24年3月期3Q	4,452,387 株

(注)詳細は、添付資料P.2「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報	1
	(1) 経営成績に関する定性的情報	1
	(2) 財政状態に関する定性的情報	1
	(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2	サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
	(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
	(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3	継続企業の前提に関する重要事象等	2
4	四半期財務諸表	3
	(1) 四半期貸借対照表	3
	(2) 四半期損益計算書	4
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
	(4) 継続企業の前提に関する注記	6
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
	(6) セグメント情報等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期累計期間における我が国経済は、企業業績、個人消費が弱含みで雇用情勢にも厳しさが残るなど、依然、足踏みの状態が継続しております。

為替や株式相場におきましては、第 2 四半期と同様に欧州の財政問題の長期化、或いは米国経済の不透明さなどから円高と株安傾向で推移しておりましたが、第 3 四半期後半には、新政権への期待感により為替相場は円安に転じ、また、株式相場も上昇傾向を示すなど経済環境の改善気配を見せ始めました。

しかしながら、先行きの不透明感等から企業業績の回復や雇用情勢の改善には、まだまだ時間を要するものと思われまます。

このような状況の下、当第 3 四半期累計期間の売上高は、3 9 億 6 千 2 百万円 (前年同期比 1 2. 5 % 増) となりました。検査分野別で見ると、生化学分野におきましては、前事業年度に引き続き糖尿病検査薬と肝機能検査薬が好調に推移したことにより 1 2 億 2 千 3 百万円 (前年同期比 6. 6 % 増) となりました。免疫分野におきましては、第 2 四半期累計期間に引き続き輸血検査分野とアレルギー診断薬が大きく伸長したことにより 2 4 億 6 千 7 百万円 (前年同期比 1 1. 6 % 増) という結果になりました。その他の分野におきましても、機器関連等が好調な伸びを示したことにより、2 億 7 千 1 百万円 (前年同期比 6 7. 4 % 増) となりました。

この結果、営業利益及び経常利益につきましては、それぞれ 1 億 7 千 6 百万円 (前年同期比 1 5. 2 % 増)、1 億 7 千万円 (前年同期比 1 3. 9 % 増) となり、四半期純利益におきましては、1 億 2 百万円 (前年同期比 3 0. 9 % 増) となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第 3 四半期累計期間 〔自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日〕		当第 3 四半期累計期間 〔自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	1,079,698	30.7	1,151,964	29.1
	免疫血清学的検査用試薬	240,760	6.8	275,575	7.0
	そ の 他	144,960	4.1	251,760	6.4
	計	1,465,420	41.6	1,679,300	42.4
商 品	生化学的検査用試薬	68,581	1.9	71,677	1.8
	免疫血清学的検査用試薬	1,969,495	55.9	2,191,656	55.3
	そ の 他	17,492	0.5	20,135	0.5
	計	2,055,569	58.4	2,283,470	57.6
合 計	生化学的検査用試薬	1,148,280	32.6	1,223,642	30.9
	免疫血清学的検査用試薬	2,210,256	62.8	2,467,232	62.3
	そ の 他	162,453	4.6	271,895	6.9
	計	3,520,990	100.0	3,962,770	100.0

(注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期会計期間末における総資産の額は、6 0 億 8 千 9 百万円となり、前事業年度末と比べ 3 億 1 千 2 百万円の増加となりました。流動資産は 2 8 億 9 千 9 百万円となり、前事業年度末と比べ 5 億 3 千 4 百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金 3 億 8 千 7 百万円、受取手形及び売掛金 8 千 1 百万円、商品及び製品 5 千 8 百万円などがそれぞれ増加したことによります。固定資産は 3 1 億 8 千 9 百万円となり、前事業年度末と比べ 2 億 2 千 1 百万円の減少となりました。その主な要因は、投資その他の資産の長期預金から現金及び預金への振替 2 億円及び減価償却費 1 億 1 千 7 百万円を計上したことによります。

当第 3 四半期会計期間末における負債の額は、3 2 億 3 千 5 百万円となり、前事業年度末と比べ 2 億 4 千万円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金 2 千 6 百万円及び賞与引当金 2 千 7 百万円がそれぞれ減少したものの、その一方で支払手形及び買掛金 6 千万円、長期借入金 1 億 8 千 7 百万円及び流動負債その他 6 千 1 百万円などがそれぞれ増加したことによります。

当第 3 四半期会計期間末における純資産の額は、2 億 5 千 4 百万円となり、前事業年度末と比べ 7 千 2 百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金 3 千 3 百万円の支払いなどをしたものの、その一方で四半期純利益 1 億 2 百万円を計上したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 3 四半期会計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) の残高は 6 億 9 千 7 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 8 千 7 百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動は 1 億 4 千 6 百万円 (前年同期は 1 億 3 百万円の増加) の資金の増加となりました。その主な増加要因は、売上債権の増加 8 千 1 百万円、たな卸資産の増加 7 千 5 百万円及び法人税等の支払額 6 千 3 百万円などにより支出したものの、その一方で、税引前四半期純利益 1 億 7 千万円、減価償却費 1 億 1 千 8 百万円及び仕入債務の増加 6 千 4 百万円などの計上によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動は 7 千万円 (前年同期は 6 千 7 百万円の支出) の支出となりました。その主な支出要因は、有形固定資産の取得 5 千 3 百万円及び無形固定資産の取得 1 千 7 百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動は 1 億 1 千 1 百万円 (前年同期は 5 千 2 百万円の増加) の資金の増加となりました。その主な増加要因は、長期借入金の返済 3 億 7 千 9 百万円及び配当金の支払い 3 千 3 百万円の支出をしたものの、その一方で、短期借入金 2 億 4 千万円及び長期借入金 3 億円をそれぞれ調達したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、新政権への期待感により第 3 四半期後半から為替相場は円安に転じ、また株式相場も上昇傾向にあるなど経済環境の改善気配を示しておりますが、依然、不透明な状況にあり、電気料金等のコスト増加による企業収益への影響や雇用環境の改善には、まだまだ予断を許さない状況で推移するものと思われまます。臨床検査薬業界におきましても、企業間競争の影響等により経営環境は、ますます厳しさをまましていくものと思われまます。

第 4 四半期以降の業績につきましては、第 3 四半期に引き続き生化学分野及び免疫分野とも堅調に推移するものと予想しておりますが、インフルエンザ等の P O C T 関連試薬が流行に左右されやすい不透明な状況にあることから、平成 24 年 5 月 10 日付「平成 24 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」でお知らせしました通期業績の予想は、変更しておりまません。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	749,736	1,137,184
受取手形及び売掛金	1,187,649	1,269,183
商品及び製品	188,818	247,546
仕掛品	53,975	66,831
原材料及び貯蔵品	118,652	123,018
その他	69,336	59,047
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,365,267	2,899,912
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	806,386	800,913
土地	1,851,453	1,851,453
その他(純額)	200,123	187,436
有形固定資産合計	2,857,962	2,839,802
無形固定資産	46,890	40,873
投資その他の資産	506,254	308,605
固定資産合計	3,411,106	3,189,282
資産合計	5,776,374	6,089,194
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	912,417	972,714
短期借入金	1,305,130	1,278,550
未払法人税等	36,183	24,707
賞与引当金	78,400	50,500
その他	236,766	297,864
流動負債合計	2,568,896	2,624,336
固定負債		
長期借入金	312,500	500,000
その他	113,345	110,669
固定負債合計	425,845	610,669
負債合計	2,994,742	3,235,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,101,097	1,170,372
自己株式	△90,278	△90,302
株主資本合計	2,770,965	2,840,217
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,666	13,970
評価・換算差額等合計	10,666	13,970
純資産合計	2,781,632	2,854,188
負債純資産合計	5,776,374	6,089,194

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	3,520,990	3,962,770
売上原価	2,337,877	2,660,327
売上総利益	1,183,112	1,302,443
販売費及び一般管理費	1,029,831	1,125,879
営業利益	153,281	176,563
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,092	5,682
為替差益	905	—
受取賃貸料	6,592	5,229
その他	5,177	6,464
営業外収益合計	19,768	17,776
営業外費用		
支払利息	17,510	16,423
手形売却損	673	714
為替差損	—	1,840
賃貸費用	2,424	1,342
その他	2,525	2,810
営業外費用合計	23,133	23,131
経常利益	149,916	170,808
特別損失		
固定資産売却損	54	—
固定資産除却損	324	301
特別損失合計	378	301
税引前四半期純利益	149,537	170,507
法人税、住民税及び事業税	42,310	54,645
法人税等調整額	28,800	13,200
法人税等合計	71,110	67,845
四半期純利益	78,427	102,662

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	149,537	170,507
減価償却費	115,438	118,304
売上債権の増減額 (△は増加)	100,051	△81,533
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△67,685	△75,951
仕入債務の増減額 (△は減少)	△31,678	64,089
その他	△71,952	23,702
小計	193,711	219,118
利息の支払額	△16,181	△14,666
法人税等の支払額	△80,862	△63,947
その他の収入	7,078	6,185
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,744	146,690
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,371	△53,999
有形固定資産の売却による収入	274	—
無形固定資産の取得による支出	△846	△17,839
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	100,000	—
投資有価証券の売却による収入	500	—
その他	464	1,051
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,978	△70,787
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	240,000	240,000
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△339,550	△379,080
配当金の支払額	△33,189	△33,153
その他	△14,530	△16,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	52,730	111,455
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	89
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	88,490	187,448
現金及び現金同等物の期首残高	768,515	509,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	857,006	697,184

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (6) セグメント情報等
当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。